



この頃、朝夕冷えるようになってきました。皆さんが楽しみにしている冬休みは、もうすぐです。クリスマスやお正月と、楽しいことが多い冬休みですが、暖かい部屋で読書も良いですね。冬休み前にワクワクする本を探しに来てください。



クリスマスの本

☆「サンタクロースっているんでしょうか？」 中村妙子:訳

ある新聞社に「サンタクロースっているんでしょうか？」という手紙が届きました。新聞社は8歳の少女の手紙を大切に、返事を社説に書きました。この本は、その社説を訳したものです。この心あたたまる素敵な答えは長く読み継がれています。

☆「くるみわり人形」 E. T. A. ホフマン:作

12月24日にくるみわり人形をもらったマリーは、その夜遅くに、ネズミの大群と人形たちの戦いを目撃します。マリーはくるみわり人形の危機を救い、気を失ってしまいます。深い眠りから覚めたマリーが、ねずみとくるみ割り人形の戦いの話をしても、誰も信じてくれません。しかし、くるみわり人形には重大な秘密があり、マリーは幸せな生活を送るようになります。

☆「クリスマスのおいもの」 ジョン・バーニングム:さく

クリスマス・イブの夜、おじいさんサンタとトナカイたちは、世界中の子ども達に贈り物を届けて、すっかり疲れて食事をし、ベッドに入ろうとして、びっくり。なんと、贈り物がまだ一つ残っていました。それは遠く離れた山のてっぺんの小さな家に住む男の子への贈り物でした。トナカイが疲れ果てていることを知っているサンタは、パジャマの上に赤いコートを着て、長靴をはき、袋を担ぎ歩き始めました。おじいさんサンタはプレゼントを届けられるのでしょうか？



松本清張 生誕110年 12月生まれ

新しい社会派推理小説というジャンルの作品を発表し、ブームを巻き起こしました。

「点と線」 松本清張:著

汚職事件にからんだ背景と偽装された心中事件。犯人と思われる人物には鉄壁のアリバイがあり、それを崩していく刑事たち。犯人のいた地と事件の地はつながるのか？

冬休み前の貸出

- ◆12月16日(月)～20日(金)
- ◆5冊まで借りられます
- ◆返却 1月10日(金)まで

この本、読んでみませんか？ (図書委員 宙賢さんおすすめ)

『特攻 自殺兵器となった学徒兵兄弟の証言』 岩井忠正:著

神風特別攻撃隊を知っていますか？神風特攻隊は太平洋戦争の悲劇の象徴として、広く知られていますが、特攻兵器は他にもあります。「回天」や「伏竜」「震洋」です。これらの兵器は攻撃に成功した場合、敵だけでなく搭乗者も共に死亡してしまう非人道的なものです。この本では「回天」「伏竜」の二つの特攻部隊に所属した著者の兄の経験が語られており、非常に生々しい内容です。しかし、教科書だけでは知ることができない戦争の裏側や悲惨さについて知ることができます。

